



バンビーノハウス保育園

暑さもようやく一段落し、朝夕の風には秋の気配が感じられるようになりました。夏の間に一回り大きく、たくましくなった子どもたち。散歩に出かけたり、秋の自然に触れたり、元気に外遊びを楽しみたいですね。



健康状況

8月の下旬から、熱や咳等での欠席や、発熱での早退が増えていました。こまめに体温のチェックを行い、体調を確認しながら、保育にあたっています。早めの受診を心掛け、大きく体調を崩す事の無いようにしましょう。



ヒヤッとした時こそ、次の事故を防ぐチャンス！

9月9日は救急の日です。

子どもにとって安心して過ごせる家の中が、実は事故の危険の高い場所だということをご存じですか？「ヒヤッとしたけど何もなくてよかった」で済ませるのではなく、なぜヒヤッとしたのか見直して事故を防ぎましょう。

① 「ダメ！」「危ない！」は
そこが危険なサイン

子どもを叱って止めるより、ものの場所を変えるなど安全に過ごせるような環境を整えましょう



② 一度あれば二度、二度あれば三度ある

危ないと思ったら、必ず理由を考えましょう。原因が分かれば対策が取れます。対策をしないと大きな事故につながります。

③ 大人も一緒にやってみよう！

子どもが過ごす場所が安全かどうか、子どもの目の高さでチェックしてみましょう。遊具やおもちゃは、一緒に遊んで正しい使い方を伝えましょう。





ご家庭の救急箱の中身 チェックしていますか??

「救急箱には必ずこれを!」という決まりはありませんが、普段よく使うもの、清潔なものを入れておきましょう。ただし、薬には使用期限がありますし、テープ類は古くなると粘着力が弱くなります。1年に1回は中身をチェックしましょう。

絆創膏



ケガに合わせて選べるように、形、サイズをいくつか用意しておくとう便利です。

はさみ



救急箱様にしておくと衛生的です

体温計

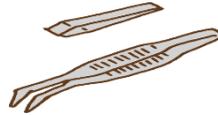


ガーゼ・医療用テープ



個包装の滅菌タイプのもので使いやすいでしょう

毛抜きやピンセット



常備薬



虫よけやかゆみ止め など



元気な子どもは小さなすり傷や切り傷がしやすいもの。化のうさせずに治す方法を知っておきましょう。



ウェットタイプの絆創膏は 使い方をチェック!

モイストタイプ(ハイドロコロイド素材)の絆創膏は、2歳以下の子どもには使えません。使用上の注意を守って使いましょう。

1 手当てする大人がまず手を洗う

手から汚れがうつるのを防ぎます。

2 傷口を流水で洗う

流水で傷口をやさしく洗い、泥や砂などを取り除きます。とげなどが刺さっているときは、毛抜きで抜き取ってから流水で傷を洗いましょう。

3 傷口を保護する

絆創膏やガーゼなどで傷口を覆います。絆創膏は毎日交換して、傷の治り具合をチェックしましょう。

傷口の汚れやとげなどが取り除けない、傷がなかなか治らないときは、病院へ!



看護師より



●発熱等で早退、欠席されたときは・・・

- ① 解熱(体調回復)後、24時間はお家で様子を見られ、しっかり体調が回復してから登園して頂きますようお願い致します。
- ② 早退、欠席される場合、同園、他園に在籍するご兄弟も、出来る限り一緒にご家庭で様子を見て頂きますようお願い致します。
- ③ キッズリーで、病気・体調不良での欠席連絡をいただく場合、症状などをコメント欄にご記入ください。(熱があります、下痢をしています など)